

大安寺報

第61号



名句・名言に学ぶ

大林 宜彦 (映画監督)

(ガンを患^わつて以降) 地球のためにどう優しくすればいいかっていうことを考えて生きようと、自然にそう思えてきてね。そうするとありがたいことに、全てのものが命に見えるんですよ

今年の一大事件といえば、なんといっても新型コロナウイルス感染拡大によるコロナ禍に見舞われたことでしょう。今も、日本のみならず全世界で感染拡大が止まらず、多くの人が命を落としています。当地でも大切な家族と会うことができず、中には仕事を失う方もいる状況です。今回のコロナ禍を引き起こしたのは、生活圏の拡張による自然破壊や、過度なグローバルリズムなど、人間に起因するという説があり、一方で、コロナ禍で経済活動が止まったことにより、大気汚染や海洋汚染が改善したというニュースもありました。お釈迦さまの縁起の理法(世の中の全ての存在は互いに関わ

りあって成立している)を実感するとともに、人間の独善的な生き方を見直すべき機会であるとも考えられます。

今年四月に八十二歳で逝去した大林氏が肺がんの告知を受けたのは平成二十八年のこと。ステージ四まで進行しており、当初は余命六ヶ月と診断されたものの、抗がん剤治療が奏功し病状が改善。その後、戦争と広島原爆をテーマとした映画の制作に精力的に取り組みとともに自身の闘病の様子をドキュメンタリー番組に取材させるなど、最後まで精力的に表現活動に取り組みました。冒頭のことばは逝去の一年前にラジオ番組のインタビューで語ったものです。自身のそれまでの人生を振り返った上で、「俺もがんそのものじゃないか。うまいもの食いたいから、牛や豚や鳥やマグロや小魚を貪り食っている。あー、地球という宿主に対して、ずいぶんわがままなことをしているな。地球に対して俺はがんだっただ」の反省を述べ、自身を取り巻くあらゆる存在(天地自然、生きとし生ける

曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp
http://www.daijanji.jp

□新型コロナウイルス感染拡大防止のための当寺の対応について

- ・屋内ではマスクを着用ください。
 - ・本堂及び位牌堂へのお参りは、混雑時を避け、短時間かつ最少人数でお願いいたします。又、屋内での飲食はお控えください。
 - ・以下のいずれかに該当する場合は法要への参列・参拝をお控えください。
 - 発熱(37.5度以上)、又は37.5度以上の発熱と症状(咳、痰、息切れ等)
 - 味覚・嗅覚異常(2週間以内)
 - ・おいでの際とお帰りの際は、必ず手洗い、もしくは手指の消毒をお願いします。
- ※感染拡大の際は法要を無参列法要とし、行事自体を中止する場合があります。その際は、公式HP等でお知らせいたします。
- ※混雑緩和のため、元朝大般若祈禱・涅槃会法要・春季彼岸会法要のインターネット中継を行います。



チャンネル名：
宗教法人大安寺



【各種講座について】

令和三年一月～三月は休止いたします。
【葬儀・法事について】
・人数制限は設けず、席と席の間隔をあけ、換気を頻繁に行うなどの対応をします
・スマホなどでネット中継ができるようWi-Fiを整備し、専用三脚を用意しましたのでご利用ください。

令和三年 年回表

(法事早見表)

| | |
|-------|--------|
| 一周忌 | 令和二年 |
| 三回忌 | 令和元年 |
| 七回忌 | 平成二十七年 |
| 十三回忌 | 平成二十一年 |
| 十七回忌 | 平成十七年 |
| 二十回忌 | 平成十一年 |
| 二十七回忌 | 平成七年 |
| 三十三回忌 | 平成元年 |
| 三十七回忌 | 昭和六十年 |
| 四十三回忌 | 昭和五十四年 |
| 四十七回忌 | 昭和五十年 |
| 五十回忌 | 昭和四十七年 |
| 百回忌 | 大正十一年 |

【法事の際にご用意いただくもの】

- ①御位牌
- ※仮位牌は、忌明け(三十五日)もしくは(四十九日)まで
- ②本堂にお供えする御供物(あげもの)少々(菓子・果物など)

※可能であれば前日までにお届けください。当日になる場合は、法事開始十分前までに御持参ください。
☆引き続き墓参をされる場合は、線香・ろうそく・供物・花・洗米(あられ)なども御持参ください。

曹洞宗テレホン法話

曹洞宗宗務庁運営

0120-508-740

携帯の方は 03-3454-5410

※12月22日～31日

「お餅に願いを込めて」

(副住職担当)

曹洞宗テレホン法話

「心の電話」

曹洞宗東北管区教化センター運営

022-218-4444

□除夜の鐘について

令和三年一月一日午前0時より午前二時まで、鐘撞堂にて開催いたします。(参加無料・先着順) 梵鐘を痛めますので連続で撞くのはおやめください。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。また、発熱や咳などの症状がある方は参加をお控えください。(当地の感染拡大状況によっては中止にする場合がございます)

【維持費納入について】

○令和二年度分維持費(四千元)の納入がお済みでない方、また、お手元にゆうちょ銀行払込取扱票(護持会日より、決算書含む)が届いていない方は、お手数をおかけいたしますが、当寺までご連絡ください。なお、令和三年度分維持費の取扱票は令和三年六月末から郵送もしくは各地区役員さんを通してお手元にお届けいたします。

行事カレンダー(令和三年1～3月)

- 一月一日(土・元旦)午前0時
- 「元朝大般若祈禱」(本堂)・「除夜の鐘」(鐘撞堂)
- 二月十五日(月)午前十一時
- 「涅槃会法要」(本堂)
- ※お釈迦さまの入滅(涅槃)にちなみ、報恩感謝する法要です。
- 三月二十日(土・春分の日)午前十一時
- 「春季彼岸会法要」(本堂)
- ※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」※荒天時は本堂にて

編集後記

ワクチンが開発され、海外では少しずつ接種が進んでいます。とはいえまだまだ収束時期が見えないコロナ禍ですが、「夜明け前が一番暗い」という言葉を胸に、なんとかこの冬の感染拡大時期を共に乗り越えたいと思います。皆様におかれてはどうぞお身体をご自愛ください。(副住職)

次号のご案内 令和三年三月中旬に発行予定です。



冬、健康に留意し、感染拡大時期を共に乗り越えましょう。

(副住職)



大安寺
公式ホームページ

スマートフォン・タブレット端末のカメラ機能で読み取ってください。



大安寺
公式 facebook ページ

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 総持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)